

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和2年2月25日

配布数 8

回収数 8

業所名 アートチャイルドケアSEDスクール横浜センター南

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答	割合（％）				工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
						はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答		
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	1	1	0	75.0%	12.5%	12.5%	0.0%	・相談室を母子個室でなくても使えるといい。	基本的には相談室兼静養室ですので、マット敷の個室がある事は大切ですが、今後相談室での療育を保護者様別の場所見られるよう検討します。
	2 職員の配置数は適切であるか	3	2	3	0	37.5%	25.0%	37.5%	0.0%	・手帳に徹する。	隔りや無理のない配置確保に努めます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	7	1	0	0	87.5%	12.5%	0.0%	0.0%	・仰向きバリアフリーや、否定するための×マークを使用せずに、自身で注意が向けられるように段差等を工夫して対応している。	施設の安全を図るために工夫をしています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	8	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・自らヒヤリハットを見つめようとする試みも行い、子供たちの安全の維持に努めている。	
業務改善	5 業務改革を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5	3	0	0	62.5%	37.5%	0.0%	0.0%	・日々のカンファレンスと引継ぎから、月の目標や、事業所アンケートの反省点を年間を通して見直している。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・上記と同じく、年間を通して保護者の方から頂いたご意見の改善に努めている。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7	1	0	0	87.5%	12.5%	0.0%	0.0%	・虐待、社内研修、緊急時対応など	虐待予防や緊急時対応だけでなく、職員のスキルアップのために研修内容を今後も工夫して行きます。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	8	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	3	1	0	50.0%	37.5%	12.5%	0.0%	・SEDとしてアセスメントツールが決まっていない。発達段階は皆で確認している。テンパの指針はあったが、お子様全員の適応にはならないので、様々な指標をチョイスしている。	現在、K式発達検査やデンバー式発達スクリーニング検査、遠城寺式発達検査をスクールに導入しているおります。
	11 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	8	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・発達支援はセッションからカンファ・事例検討会を含めて、家庭支援はフィードバックやスクール長面談等。地域支援は自立協議会や会合、保育園等をはじめとする訪問で連携を図り、三つ巴を意識して実施。	
	12 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	8	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・ファイルに添付して意識化を定着させている。	
	13 活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	2	0	0	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	・毎回の活動プログラムはチームで行っていないが、引継ぎをはじめ、月ごとのねらいで方向性を着実に共有している。	月ごとのねらいの共有だけでなく、3ヶ月も職員間で、プログラム内容を職員間で検討しております。
	14 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	3	0	0	62.5%	37.5%	0.0%	0.0%	・お子様の状況により、期間設定等を踏まえて固定したほうが良い場合もあるため、その際は保護者に丁寧に説明を行っています。	
	15 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	3	3	2	0	37.5%	37.5%	25.0%	0.0%	・現在お子様の状況等により集団活動は設定していない。	明確にグループ療育は実施していませんが、プログラムの一部をグループで行うなど、今後グループ療育の実施を検討していきます。
	16 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	2	0	0	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	・ホールと個室の配分や、面談・諸注意等は朝礼や昼礼で確認。合同で行うセッション等は密に打合せしている。	
	17 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか	8	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・毎日実施。	
関係機関や保護者との連携	18 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・新しく枠を作り、申し送りを強化して、記録を残している。	
	19 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	7	1	0	0	87.5%	12.5%	0.0%	0.0%	・独自に3か月評価をしている。 ・園訪問や事例検討等の振り返り。 ・検査後や進級・環境の変化時にも実施。	お子様の状況に合わせて支援計画の見直しを丁寧に行っています。
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	1	0	0	87.5%	12.5%	0.0%	0.0%	・モニタリングはスクール長が対応。 ・関係者会議を実施するケースはない。	関係機関との連携は、支援を行う上で大切なことと考えています。日々の支援をいっつ、できる限り外部の関係機関との連携を図れるようにスクール全体で取り組んでいます。
	21 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	7	1	0	0	87.5%	12.5%	0.0%	0.0%	・スクール長が対応。	
	22 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7	1	0	0	87.5%	12.5%	0.0%	0.0%	・移行支援ではなく、保護者の方の希望で実施。	
	23 移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7	1	0	0	87.5%	12.5%	0.0%	0.0%	・スクール長が希望があったケースや情報があった場合に対応。	
保護	24 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7	1	0	0	87.5%	12.5%	0.0%	0.0%	・研修や会合等でスクール長が実施。	
	25 （自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	7	1	0	0	87.5%	12.5%	0.0%	0.0%	・スクール長が対応。	
	26 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・強化に努めている。	
	27 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・契約時に時間を取っている。 ・変更時もスクール長が個々に対応。	
28 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	8	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・事前に3か月評価・成長確認シートでニーズや方向性を把握して共有をはかり、スクール長のモニタリング後にカンファレンスを実施。個々に出した意見も伝えながら、計画書を説明し、同意を頂いている。		

者への説明責任等	29	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・前記にもあるように、機会があるごとに面談を実施。個々に受けた相談も、持ち帰り共有してから保護者に返答をし、セッションに盛り込んでいる。	
	30	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	1	0	0	87.5%	12.5%	0.0%	0.0%	・迅速に行うべく、面談を行い、職員間の話し合いを受けて、お子様の状況と療育の観点から環境整備・周知の経緯を取っている。	
	31	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・きらきら通信の掲示や、横浜市情報、警報・注意報等、掲示・コドモン・ブログで様々な情報を発信しています。	
	32	個人情報の取扱いに十分注意しているか	8	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・強化に努めている。	毎年研修を行い、更に日々の業務の中で職員間で注意しています。
	33	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・適宜、お子様を取り巻く環境に配慮している。	
非常時等の対応	34	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	7	1	0	0	87.5%	12.5%	0.0%	0.0%	・訓練に至っていない事項もあるがマニュアルは周知されている。	
	35	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7	1	0	0	87.5%	12.5%	0.0%	0.0%	・横浜市は児童にも課せられているので、実施している。	
	36	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	7	1	0	0	87.5%	12.5%	0.0%	0.0%	・プロフィールシートでの確認や聞き取りを実施。	
	37	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	2	0	0	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	・自らヒヤリハットを採り組みを実施。	
	38	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・実施。 ・県の虐待防止・権利擁護マネージャーを取得。	